

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 3 部門第 2 区分  
【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-519488 (P2004-519488A)  
【公表日】平成 16 年 7 月 2 日 (2004.7.2)  
【年通号数】公開・登録公報 2004-025  
【出願番号】特願 2002-571051 (P2002-571051)  
【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 31/455  
A 6 1 P 3/04  
A 6 1 P 17/02  
A 6 1 P 17/14  
A 6 1 P 35/00  
A 6 1 P 43/00  
C 0 7 D 213/79

【F I】

A 6 1 K 31/455  
A 6 1 P 3/04  
A 6 1 P 17/02  
A 6 1 P 17/14  
A 6 1 P 35/00  
A 6 1 P 43/00 1 1 1  
C 0 7 D 213/79

【手続補正書】  
【提出日】平成 16 年 6 月 30 日 (2004.6.30)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

レプチンレベルの増大によって軽減可能な状態にある被験体においてレプチンレベルを増大するための薬学的組成物であって、該被験体のレプチンレベルを増加し、該状態を軽減するのに十分な量のニコチン酸またはニコチン酸エステルを含有する、組成物。

【請求項 2】

ニコチン酸を含有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

ニコチン酸エステルを含有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記ニコチン酸エステルが、1 ~ 30 の炭素原子の置換されたかまたは置換されていないアルキル鎖を含む、ニコチン酸アルキルエステルである請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記アルキル鎖が、1 ~ 22 の炭素原子を含む、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記アルキル鎖が、1 ~ 18 の炭素原子を含む、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記ニコチン酸エステルが、12 の炭素または 14 の炭素を含む、請求項 4 に記載の組成

物。

【請求項 8】

前記組成物が、経口的に投与される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記組成物が、局所的に投与される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記組成物が、1 より多い前記ニコチン酸エステルを含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記組成物が、ニコチン酸および少なくとも 1 つのニコチン酸エステルを含有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 12】

前記被験体が、皮膚の創傷を伴う、請求項 1 に記載の組成物。